

## 第1回滋賀県がん診療連携協議会・診療支援部会 議事概要

1. 日 時 平成23年7月7日(木) 18時00分～19時20分
2. 場 所 滋賀医科大学医学部看護学科 会議室
3. 出席者 別紙のとおり
4. 議 題

### (1) 平成23年度の取組みについて

資料1により、6月に開催された企画運営委員会にて診療支援部会からの本年度の取組みについて報告があった。併せて、同部会を含む情報の共有化にあたって、がん診療連携協議会としてもホームページの見直しを図っていききたい等の意見があった旨の報告があった。

部会各団体等の本年度の取組みについて以下の報告があった。

病院薬剤師会：

教育研修部の中にがん専門薬剤小委員会立上げ、10月にがん専門薬剤師養成ワークショップを開催し、業務の工夫や様々な情報提供するディスカッションを行う予定。県薬剤師会とは情報共有しているが8月の滋賀県病院薬剤師会の学術大会に参加していただき、情報共有していく。滋賀医大と会営薬局は症例検討をオープンで行っているが、調剤薬局の方々までは参加が困難な状況である。薬剤部のホームページには公開している。

県薬剤師会：

地域での在宅にかかる調剤の薬剤師として、在宅ホスピス薬剤師を養成することを検討している。

放射線技師会：

技師会の中で研修会は行ってきているが、昨年からがんの画像診断をどうしていくかを専門家が持ち寄って意見を交わす方向に変えてきている。ホームページ上に載せているが、診療放射線技師が中心で、現在のところ市民公開まではしていない。放射線治療は病院個々で内容が異なり、共有化は難しい。年3回は研修会を開催し、1回はがんに関する研修会を計画したい。

看護協会：

アンケート調査をもとにがん診療連携拠点病院の看護師で情報交換を進めていきたい。

医師会：

滋賀医大での調査内容(資料2-1)を各拠点病院でも実施したい。但し、出向者の取得専門医は把握できるが、要請の場合は取得専門医などの把握が難しい。又、外来ではがん治療に関する医師の要請かどうかは不明な点もある。

現状では五大がん地域連携パスは積極的に取り組んでいる。

## (2) 医師派遣実績調査について

本部会では今年10月に問題点を討議し、実態を分かりやすくして、今後の人材育成を検証し、協議会等に報告できるようにするため、平成23年7月1日現在で、拠点病院の4~6月の期間内で資料2-1により医師派遣実績調査をすることになった。

又、がん治療に関わる先進的(高度)な医療についても、部会としてホームページ等に反映していただくため、各拠点病院に調査をお願いすることになった。

## (3) その他

### 国立がんセンターでのがん情報サービスについて

資料3により、がん情報サービスとして病理診断や画像診断コンサルテーション・サービス等がある旨の報告があった。

病理診断サービスについて、成人病センターにおいてネットワークシステムの構築を図っている状況であること。平成23年7月16日(土)には、遠隔病理診断ネットワークにかかるシンポジウムをコラボ滋賀で開催予定しているとの報告があった。

### がん看護に関する相談と情報交換の窓口について(配布資料参考)

看護部門からは、アンケート調査結果から情報交換のニーズが多いこと、施設として相談、研修等情報交換の協力が可能との結果を得たことから、県内のがん診療に携わる看護師からの相談と情報交換の窓口をつくることを検討しているとの報告があった。

その他部会員より以下の意見等が出された。

- ・がんの三次医療圏地域医療再生計画と人材育成について
- ・人事交流の調査は人材育成・診療支援推進の刺激になり良いのではないかと
- ・看護部門の相談受付は情報のベースになれば良い。
- ・情報の整理は診療支援の到達点として目指す。
- ・がんに関する認定看護師等は不足しており、数を増やすための努力を提言すること及び拠点病院間の情報交換することでがん診療の底上げにつながり、看護部門の提案は積極的に取り組んでいただきたい。
- ・医師派遣・交流は難しく結論は出にくい面がある。画像診断、病理診断等の情報通信を利用した交流を診療支援に変えるのも一つの手段である。
- ・診療支援を受ける立場から、まとまった情報を受けられるように。  
又、画像診断で相談できる窓口を構築すること。
- ・研修や看護等の情報を共有し配信できるようなシステムが必要。
- ・薬剤師の立場から、パスの研修を検討している。

- ・放射線画像はデジタル化対応となってきたので、遠隔から診断する診療支援が進んでいる。
- ・拠点病院の中でも薬剤部のレベルはいろいろであるため、均てん化にどう対処するか諮っていきたい。
- ・滋賀県としてインフォームドコンセントの調査を予定している。
- ・県では検診の受診率を上げること、診断・診療の均てん化に向けて取り組み中である。

#### 配布資料

診療支援部会 部会員名簿

- (資料1 - 1) 平成23年度診療支援部会の取組予定について
- (資料1 - 2) 滋賀県がん診療連携協議会の現状と課題、部会の取組全体概要
- (資料2 - 1) 医師派遣実績調査(要請をしたもの、外部へ出向したもの)
- (資料2 - 2) 滋賀医科大学医師派遣実態調査表
- (資料3) 国立がん研究センターがん情報サービス

第1回滋賀県がん診療連携協議会診療支援部会出席者

区分	施設・団体名	所属・職名	氏名	備考
部会長	滋賀医科大学 医学部附属病院	消化器内科診療科長 (内科学講座 教授)	藤山 佳秀	
副部会長	大津赤十字病院	副院長 (第一外科部長)	土井 隆一郎	
副部会長	滋賀県立 成人病センター	消化器内科主任部長	水田 和彦	
部会員	公立甲賀病院	顧問	井田 健	
"	彦根市立病院	内科部長	來住 優輝	
"	市立長浜病院	副院長 (泌尿器科部長)	村中 幸二	
"	社団法人 滋賀県医師会	草津栗東医師会 副会長	中野 悦次	
"	社団法人 滋賀県薬剤師会	理事	小島 繁郎	
"	社団法人 滋賀県看護協会		喜多下 真里	
"	社団法人滋賀県 放射線技師会	副会長	高橋 昌章	
"	滋賀県病院薬剤師会	副会長	寺田 智祐	
"	滋賀県健康福祉部 健康推進課	主席参事	大林 豊子	
"	滋賀県立 成人病センター	経営企画室 主任主事	谷本 圭	
準部会員	滋賀医科大学 医学部附属病院	腫瘍センター長	醍醐 弥太郎	
部会 事務局	滋賀医科大学医学部附 属病院	医療サービス課	野本 滋 奥村 龍雄	